

競泳用からレジャー用まで
美しく清潔感あふれるプールを演出する専門塗料

ATOM プールペイント



Pool Paint

ATOM¹X



色あざやかで美しい水、
清潔感あふれるプールサイド。
高環境と健康づくりに貢献する、
アトミクスのプールペイント。

競泳用プール（屋内・屋外）

- 25mプール
- 50mプール
- 飛び込みプールなど



プールペイントシリーズ 基幹製品

アトム プールペイント #50

《一液アクリル》

モルタル・コンクリート用

特長

- ①密着性に優れ、水を張ってもフクレを生じません。
- ②隠ぺい力に優れ、きわめて経済的です。
- ③塗装時の溶剤の刺激臭が他の溶剤型塗料に比べて少なく、刷毛さばきも良好です。
- ④乾燥が早く、作業性が良好です。
- ⑤落ち着いた色、艶が得られ、目を刺激しません。

用途

新設および既設のコンクリート製プール
およびプールサイド。

アトム プールペイント #70

《二液アクリルウレタン》

鋼板・アルミ・ステンレス・モルタル・コンクリート用

特長

- ①耐候性、耐水性に優れています。
無黄変型イソシアネートを使用した二液性のアクリルウレタン塗料ですから、耐候性、耐水性に優れています。
- ②乾燥が早く、作業性が良好です。
- ③ツヤのある塗膜。
- ④耐薬品性に優れています。

用途

新設および既設のコンクリート、鋼板、アルミ製プール
およびプールサイド。



レジャー用プール (屋内・屋外)

- 流水プール
- 造波プール
- 幼児用プール
- スライダープール
- 噴水プール
- プールサイドなど



遮熱仕様でプールサイドでのやけどを低減!



夏場のプールサイドは、強い日差しに照らされ表面温度が60℃を超えることがあります。当社仕様の「プールサイド遮熱仕様(フロアトップ#1000 速乾 遮熱色・アトレヌ 水性防水材遮熱仕様)」を用いると、表面温度を10℃以上低下させることができます。皮膚の表面温度と低温やけどになるまでの時間の関係について右の報告があります。素足で歩くプールサイドにおいて表面温度を低減することは、安全面からも非常に重要です。プールサイド遮熱仕様で施工すれば、足裏の低温やけどのリスクを大幅に低減することが可能です。

皮膚の表面温度と低温やけどになるまでの時間

44℃	3時間～4時間
46℃	30分～1時間
50℃	2分～3分

参考文献：山田幸生「低温やけどについて」製品と安全第72号（製品安全協会）

標準色



●ベイルブルー



●オーシャンブルー



●ライトグリーン



●白



●青(ライン専用)



●黒(ライン専用)

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。 ※#50、#70は共通色ですが番手により光沢が多少異なります。 ※調色も承ります。

■ プール標準塗装仕様例

C-50 プールペイント#50 コンクリート新設塗装仕様

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
<ul style="list-style-type: none"> ● プールペイント #50 ● プールペイント #50 ● #750 プライマー+G フィラーホワイト ● 下 地 	プライマー	#750 プライマー G フィラーホワイト*	合成シンナー No.6	0~5	100~150 50~75	3時間~8時間
	上 塗 り	プールペイント #50	合成シンナー No.50	30~40	130	2時間以上
上 塗 り	プールペイント #50	合成シンナー No.50	30~40	130	養生7日間以上	

C-70 プールペイント#70 コンクリート新設塗装仕様

[文部科学省プール塗り替え仕様 (PEU-1 R-2) 準拠]

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
<ul style="list-style-type: none"> ● プールペイント #70 ● プールペイント #70 ● プールペイント下塗り用エポ ● #750 プライマー+G フィラーホワイト ● 下 地 	プライマー	#750 プライマー G フィラーホワイト*	合成シンナー No.6	0~5	100~150 50~75	3時間~2日間
	下 塗 り	プールペイント 下塗り用エポ	合成シンナー No.6	0~5	180	8時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	5時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	養生7日間以上

I-70 プールペイント#70 鋼板プール新設塗装仕様

[文部科学省プール塗り替え仕様 (PEU-1 R-2) 準拠]

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
<ul style="list-style-type: none"> ● プールペイント #70 ● プールペイント #70 ● プールペイント下塗り用エポ ● プールペイント下塗り用エポ ● アトムジンクリッチプライマー ● 下 地 	錆止め プライマー	アトムジンクリッチ プライマー	合成シンナー No.6	0~5	300	8時間~5日間
	下 塗 り	プールペイント 下塗り用エポ	合成シンナー No.6	0~5	180	8時間~5日間
	下 塗 り	プールペイント 下塗り用エポ	合成シンナー No.6	0~5	180	8時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	5時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	養生7日間以上

注：室内鋼板プールは仕様を組んでおりません。

M-70 プールペイント#70 アルミ新設塗装仕様

[文部科学省プール塗り替え仕様 (PEU-1 R-2) 準拠]

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
<ul style="list-style-type: none"> ● プールペイント #70 ● プールペイント #70 ● プールペイント下塗り用エポ ● #650 プライマー ● 下 地 	プライマー	#650 プライマー	合成シンナー No.6	3~5	160	16時間~5日間
	下 塗 り	プールペイント 下塗り用エポ	合成シンナー No.6	0~5	180	8時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	5時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	養生7日間以上

M-70 プールペイント#70 ステンレス新設塗装仕様

[文部科学省プール塗り替え仕様 (PEU-1 R-2) 準拠]

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
<ul style="list-style-type: none"> ● プールペイント #70 ● プールペイント #70 ● プールペイント下塗り用エポ ● #650 プライマー+#650 ステンレス用添加剤 ● 下 地 	プライマー	#650 プライマー+ #650 ステンレス用添加剤	—	—	160	16時間~5日間
	下 塗 り	プールペイント 下塗り用エポ	合成シンナー No.6	0~5	180	8時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	5時間~5日間
	上 塗 り	プールペイント #70	合成シンナー No.5	20~25	120	養生7日間以上

■プールサイド遮熱仕様例

W(T)CKN-SGN アトレーヌ水性防水材 プールサイド遮熱仕様

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)
<ul style="list-style-type: none"> ●アトレーヌ水性トップSG ●アトレーヌ水性トップSG ●アトレーヌ水性防水材 ホワイト ●アトレーヌ水性防水材 ホワイト ●アトレーヌ水性防水材 ホワイト ●ベストシーラー-K+Kパウダー ●下地 	下塗り	ベストシーラー-K Kパウダー	—	170~250 30~50	1時間以上
	中塗り	アトレーヌ水性防水材 ホワイト	—	150~200	1時間以上
	中塗り	アトレーヌ水性防水材 ホワイト	—	350~450	2時間以上
	中塗り	アトレーヌ水性防水材 ホワイト	—	350~450	2時間以上
	上塗り	アトレーヌ水性トップSG 珪砂8号	—	150~200 20	2時間以上
	上塗り	アトレーヌ水性トップSG 珪砂8号	—	150~200 20	—

AWQ遮熱-03 フLOATTOP#1000速乾遮熱 アスファルト面遮熱新設仕様

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)
<ul style="list-style-type: none"> ●フLOATTOP#1000速乾 遮熱各色 ●フLOATTOP#1000速乾 遮熱各色 ●フLOATTOP#1000速乾 遮熱ホワイト ●下地 	下塗り	フLOATTOP#1000速乾 遮熱ホワイト 珪砂7号 (30%)	水 0~5	300 90	1時間以上
	上塗り	フLOATTOP#1000速乾 遮熱各色 珪砂7号 (30%)	水 0~5	300 90	1時間以上
	上塗り	フLOATTOP#1000速乾 遮熱各色 珪砂7号 (30%)	水 0~5	300 90	—

■防滑仕様例

C-70N プールペイント#70 コンクリート防滑新設塗装仕様

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)
<ul style="list-style-type: none"> ●プールペイント #70 ●プールペイント #70 ●珪砂 6号 ●プールペイント下塗り用エポ ●#750プライマー+Gフィラー-ホワイト ●下地 	プライマー	#750プライマー Gフィラー-ホワイト※	合成シンナー No.6 0~5	100~150 50~75	3時間~2日間
	下塗り	プールペイント 下塗り用エポ	合成シンナー No.6 0~5	180	塗装直後
	珪砂撒布	珪砂6号	—	150	塗装直後
	上塗り	プールペイント #70	合成シンナー No.5 20~25	200	5時間~5日間
	上塗り	プールペイント #70	合成シンナー No.5 20~25	150	—

上記以外の防滑仕様も取り揃えています。お問い合わせください。

アトレーヌPNSN-30MS仕様 (プールサイド防滑)

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (g/m ²)	塗装間隔 (23℃)
<ul style="list-style-type: none"> ●アトレーヌUトップG ●アトレーヌU-#60スーパーN+エストップ#60 ●アトレーヌU-#60スーパーN ●アトレーヌU-#60スーパーN ●ウレタンプライマー ●下地 	プライマー	ウレタンプライマー	—	200	2時間~6時間
	下塗り	アトレーヌU-#60 スーパーN	合成シンナー No.2 0~5	2000	16時間~72時間
	中塗り	アトレーヌU-#60 スーパーN	合成シンナー No.2 0~5	1700	16時間~72時間
	上塗り	アトレーヌU-#60 スーパーN	合成シンナー No.2 10~15	500	16時間~72時間
		エストップ #60		70	
	トップコート	アトレーヌUトップG	合成シンナー No.2 30~40	200	—

※ポルトランドセメントでも代用できます。

製品概要

一液溶剤アクリル樹脂 上塗り

プールペイント #50

【用途】 プールペイント用上塗り
 【適用範囲】 モルタル・コンクリート
 【荷姿】 14L
 【色】 標準色4色・指定色
 【消防法】 第4類第一石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03041
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



二液溶剤アクリルウレタン樹脂 上塗り

プールペイント #70

【用途】 プールペイント用上塗り
 【適用範囲】 鋼板・アルミ・ステンレス・
モルタル・コンクリート
 【注意点】 可使時間内に使い切ってください
 【荷姿】 14kgセット(主剤12kg・硬化剤2kg)
 【混合比】 主剤：硬化剤=6：1(重量比)
 【可使用時間】 4時間(23℃)
 【色】 標準色4色・指定色
 【消防法】 主剤：第4類第一石油類
硬化剤：第4類第一石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03009
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆




一液溶剤アクリル樹脂 上塗り/ライン用

プールペイント #50(ライン用)

※プールペイント #50 とは色・荷姿が異なります

【用途】 ライン専用
 【荷姿】 4L
 【色】 標準色4色・指定色



二液溶剤アクリルウレタン樹脂 上塗り/ライン用

プールペイント #70(ライン用)

※プールペイント #70 とは色・荷姿が異なります

【用途】 ライン専用
 【荷姿】 3.5kgセット(主剤3kg・硬化剤0.5kg)
 【色】 標準色4色




二液溶剤エポキシ樹脂 下塗り

プールペイント下塗り用エポ

【用途】 プールペイント用下塗り
 【適用範囲】 アルミ・ステンレス
 【注意点】 可使時間内に使い切ってください
 【荷姿】 15kgセット(主剤12.5kg・硬化剤2.5kg)
3.6kgセット(主剤3kg・硬化剤0.6kg)
 【混合比】 主剤：硬化剤=5：1(重量比)
 【可使用時間】 3時間(23℃)
 【色】 グレー・青系調合タイプ
 【消防法】 主剤：第4類第二石油類
硬化剤：第4類第二石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03031
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆




※1 3.6kgセットは受注生産品です
 ※2 青系調合タイプは、少しくすみのある色調です

二液溶剤エポキシ樹脂系 プライマー/非鉄金属および塗り替え用

#650 プライマー

【用途】 プールペイント用プライマー
 【適用範囲】 非鉄金属および塗り替え用
 【注意点】 ステンレス面に適用する場合は「#650 ステンレス用添加剤」(別売)が必要
必要です。可使時間内に使い切ってください
 【荷姿】 15kgセット(主剤12kg・硬化剤3kg)
4kgセット(主剤3.2kg・硬化剤0.8kg)
 【混合比】 主剤：硬化剤=4：1(重量比)
 【可使用時間】 5時間(23℃)
 【色】 白
 【消防法】 主剤：第4類第二石油類
硬化剤：第4類第二石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03030
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



※4kgセットは受注生産品です

二液溶剤エポキシ樹脂 プライマー/コンクリおよび塗り替え用

#750 プライマー

【用途】 プールペイント用プライマー
 【適用範囲】 コンクリートおよび塗り替え用
 【注意点】 可使時間内に使い切ってください
別売の「Gフィラーホワイト」を50%混合して使用します
 【荷姿】 15kgセット(主剤10kg・硬化剤5kg)
3.9kgセット(主剤2.6kg・硬化剤1.3kg)
 【混合比】 主剤：硬化剤=2：1(重量比)
 【可使用時間】 5時間(23℃)
 【色】 グレー
 【消防法】 主剤：第4類第二石油類
硬化剤：第4類第二石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03029
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆




※3.9kgセットは受注生産品です

添加剤 下塗り/ステンレス用

#650 ステンレス用添加剤

【用途】 #650 プライマー用添加剤
 【適用範囲】 ステンレス
 【荷姿】 1kg(1Lハイブリッド角缶)
 【色】 クリヤー
 【消防法】 第4類第二石油類
 【使用方法】 #650 プライマー(15kgセット)に対して1kg全量添加します
希釈の役割をするためシンナーでの希釈は不要です



二液溶剤エポキシ樹脂系

下塗り/新設鋼板用

アトムジンクリッチプライマー

- 【用途】 プールペイント用下塗り
 【適用範囲】 鋼板プール
 【注意点】 屋内鋼板プールには適用できません
 可使用時間内に使い切ってください
 【荷姿】 20kgセット(主剤17kg・硬化剤3kg)
 【混合比】 主剤:硬化剤=17:3(重量比)
 【可使用時間】 8時間(23℃)
 【消除法】 主剤:第4類第一石油類
 硬化剤:第4類第一石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03035
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



一液水性アクリル樹脂

プールサイド/アスファルト、コンクリ用

フロアトップ #1000 速乾遮熱色

(受注生産品)

- 【用途】 プールサイドの遮熱
 【適用範囲】 アスファルト・モルタル・コンクリート
 【荷姿】 16kg
 【色】 8色
 【消除法】 非危険物
 【使用方法】 別売の「珪砂」を混合、または
 散布しながら塗装します

★単品パンフレットもご用意しておりますので
 ご参照ください



一液水性アクリルゴム

プールサイド/コンクリ他

アトレーヌ水性防水材

- 【用途】 プールサイド遮熱仕様の中塗り
 【適用範囲】 モルタル・コンクリート
 【荷姿】 16kg・4kg
 【色】 ホワイト
 【消除法】 非危険物

※ 遮熱仕様ではホワイトを用います
 ★単品パンフレットもご用意しておりますので
 ご参照ください

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03108
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



一液溶剤アクリル樹脂

プールサイド/遮熱用上塗り

アトレーヌ水性トップSG

- 【用途】 プールサイド遮熱仕様の上塗り
 【適用範囲】 モルタル・コンクリート
 【荷姿】 15kg・3kg
 【色】 遮熱グレー・遮熱グリーン
 【消除法】 非危険物
 【使用方法】 別売の「アトレーヌ防滑材」を
 混合して塗装します

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03107
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



二液無溶剤型エポキシ樹脂系

ガラスクロス用接着剤

プールペイントライニングエポ

(受注生産品)

- 【用途】 下地強化・不陸修正
 【適用範囲】 ガラスクロス積層仕上げ用接着剤
 【注意点】 可使用時間内に使い切ってください
 【荷姿】 18kgセット(主剤15kg・硬化剤3kg)
 【混合比】 主剤:硬化剤=5:1(重量比)
 【色】 ブルー
 【消除法】 主剤:第4類第三石油類
 硬化剤:第4類第三石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03033
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



エポキシ樹脂系パテ

モルタル・コンクリ用パテ

プールペイントプール用耐水パテ

- 【用途】 クラック・穴埋め
 【適用範囲】 モルタル・コンクリート
 【注意点】 可使用時間内に使い切ってください
 【荷姿】 1.5kgセット(主剤1kg・硬化剤0.5kg)
 【混合比】 主剤:硬化剤=2:1(重量比)
 【可使用時間】 1時間(23℃)
 【消除法】 主剤:第4類第一石油類
 硬化剤:第4類第一石油類

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03083
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



エポキシポリマーセメントモルタル

コンクリの凹凸、段差修正

不陸修正材P

- 【用途】 モルタル・コンクリート面の不陸修正
 【特長】 速乾性(歩行開放:23℃・1時間、
 5℃・3時間)
 非危険物で安全性に優れています
 【注意点】 可使用時間内に使い切ってください
 【荷姿】 28kgセット(粉体20kg・
 A液4kg・B液4kg)
 【混合比】 粉体:A液:B液=
 5:1:1(重量比)
 【可使用時間】 1時間(23℃)
 【消除法】 A液・B液とも非危険物

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03167
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。「施工仕様書」等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。
- (2) 次のようなときには、原則として塗装(施工)を避けてください。
 - a. 降雨、降雪等で下地が濡れているとき、および地下水の高いとき。
 - b. 降雨、降雪時および塗装後塗膜が乾燥する前に降雨、降雪の予想されるとき。
 - c. 気温が5℃以下のとき、湿度が80%以上のとき、および下地、塗膜上に結露があるとき。
 - d. 塵埃の多いとき。
 - e. 炎天下。
 - f. 新設時コンクリートが生乾きのとき。
 - g. 背面水圧のかかる場所。(背面水圧とは、外部の水がコンクリートの毛細管現象でにじみ出てくる状態。
イ. 周囲に川、沼、湖、海、湿地、田んぼがある場所。ロ. 山や丘を切り開いた場所。ハ. 地下水が高い場所。)

2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、充分乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を空け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーの上塗り時間は厳守してください。
- (3) 塗装中は換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- (4) 二液型塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後に行ってください。
- (6) 大半が有機溶剤を使用した塗料のため、周辺での火気、スパークに注意し、高温物は使用しないでください。
- (7) 塗装工程では常に乾燥状態を確認してから次の工程に着手してください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。
- (2) 塗装後、水を張る場合の養生期間は次の通りです。a. 10℃の場合=10日以上。b. 20℃の場合=7日以上。c. 30℃の場合=5日以上。

4. 塗装面・場所別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリート面に水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日黒くなったり、シート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安にする)
- (2) 既存塗膜面の塗り替えの際には、必ず塗膜の種類、劣化程度を確認してから、作業を行ってください。(下記の「旧塗膜の見分け方」参照)
- (3) 室内プールの場合は、様々な制約条件がございますので、必ず当社にお問い合わせください。

5. プールで使用の際の注意(消毒剤について)

- (1) 固形の消毒剤は、あらかじめ水に溶かしてから、プールの中に散布してください。
- (2) 特に高濃度のイソシアヌル酸系消毒剤(ジクロロイソシアヌル酸・トリクロロイソシアヌル酸)は塗膜に白化、劣化、フクレ、ハガレ等の悪影響をおよぼす恐れがありますので、完全に溶かしてから散布してください。
- (3) 浮遊式の消毒散布剤をご使用の際にも、消毒剤下の部分の濃度が高くなり、塗膜に悪影響をおよぼす場合がありますのでご注意ください。

6. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合がございます。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

旧塗膜の見分け方 (かならず塗装記録をチェックしてください)

1. ウエスにラッカーシンナーを含ませ、旧塗膜面を強くこすってみる。

- アクリル系塗膜=塗膜が溶け出し、べとべとしてくる。
- 二液型塗膜=塗膜は溶けない。チョーキング(白化)している旧塗膜は、色だけがウエスについてくる。塗膜はさらっとしている。

2. 旧塗膜を剥離し、ライターの火で燃やしてみる。

- 塩ビ系塗膜=燃えるが、炎を遠ざけるとすぐ消える。鼻を刺すような臭いがある。塗膜は熱で軟化し、ちぎれてくる。
- 二液型塗膜=最初燃えにくく、軟化しないが、次第に燃える。毛を燃やしたような臭いがし、よく燃え出す。
- アクリル系塗膜=よく燃え、あまり嫌な臭いはしない。熱で溶け出す。

3. 目で見て確認する。

- エポキシ系塗膜=塗膜が比較的厚く、屋外プールではチョーキングが激しい。
- アクリル系塗膜=塗膜がすり減ったように摩耗している。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.(03)3969-3125 (直通) FAX.(03)3968-7300

<https://www.atomix.co.jp/>

検索 プールペイント



■ 本 社	〒174-0041	東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL.(03)3969-3111 (代表)	FAX.(03)3968-7300
■ 加須受注センター	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-12-1 (加須工業団地内)	TEL.(0480)65-1154	FAX.(0480)65-6909
■ 大 阪 支 店	〒574-0053	大阪府大東市新田旭町2-22	TEL.(072)872-3111	FAX.(072)872-1222
■ 仙 台 営 業 所	〒982-0011	仙台市太白区長町6-8-7 (ハイコートアイ1F)	TEL.(022)249-7371	FAX.(022)249-7372
■ 新 潟 営 業 所	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南2-19-14 (和合ビル)	TEL.(025)244-8011	FAX.(025)244-8012
■ 横 浜 営 業 所	〒224-0033	横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43	TEL.(045)943-8911	FAX.(045)943-8912
■ 名 古 屋 営 業 所	〒462-0043	名古屋市中区八代町1-9 (北村ビル2F)	TEL.(052)914-3900	FAX.(052)916-0892
■ 広 島 営 業 所	〒739-1734	広島市安佐北区口田1-8-17 (小夫家ビル)	TEL.(082)845-2202	FAX.(082)845-2203
■ 福 岡 営 業 所	〒812-0863	福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL.(092)503-5200	FAX.(092)503-5308
■ 加 須 工 場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-12-1 (加須工業団地内)	TEL.(0480)65-1159	FAX.(0480)65-7146